

平成29年度糖尿病対策成果発表会
団体取組

糖尿病看護ケア研究会

取り組んだ課題
“外来機能の充実”

報告者
糖尿病看護ケア研究会代表
稲垣美智子(金沢大学)

補助事業を受けての展開(25～27年度そして28、29年度へ)

プログラムのコンセプト

患者会も巻き込んだチーム医療
新診療報酬等先を見込んだ医療への
関心

重症化予防研修受講生

1(25年度)

どの地域においても、
糖尿病腎症
予防に詳しい
看護師のいる
環境を創る

2(26年度)

自分の地域で
自分達の力で、
持続可能な研
修環境の進展
を図る

3(27年度)

糖尿病腎症
看護の標準
プログラム・
知識を普及
する

4(28年度)

1) 患者および地
域の力を借りた
糖尿病に関する
知識の普及

2) 医師不足状
況でも、糖尿病
教育を構想でき
る人材の育成

5(29年度)

糖尿病教育入院の短
縮化、糖尿病専門医の
不足
↓
患者及び地域に向
けた糖尿病教育機
会の不足に対応で
きる人材育成

リーダ研修受講生

能登地区、
加賀地区で
同時開催す
る研修会

・研究会メン
バーの全員
参加による
講義の継続
・講義のでき
る人材育成

腎症予防

患者会および
その支援方法
に関するプロ
グラムの検討

1、チーム医療の
実質化

2、糖尿病外来の
充実

3、高齢糖尿病患者
の課題への対応

29年度事業の概要

主要内容 研修会実施回数5回

6/17, 8/5, 11/18午前,午後 12/2

1、糖尿病チーム医療の実質化

講師(敬称略)

- | | | |
|----------------------|--------|-------|
| 1) 糖尿病看護の外来における役割 | 金沢大学 | 稲垣美智子 |
| 2) 糖尿病外来医療を充実させるシステム | 芳珠記念病院 | 東 康子 |

2、1型糖尿病患者のケア

- | | | |
|-----------------------|-----------|--------|
| 3) 小児・思春期糖尿病の日常管理と問題点 | 金沢大学 | 岡島 道子 |
| 4) 1型糖尿病患者の生活とサマーキャンプ | 金沢大学 | 松井 希代子 |
| 5) 思春期から成人の1型糖尿病 | 大澤内科クリニック | 大澤謙三 |

3、高齢糖尿病患者の問題とその解決

- | | | |
|-------------|--------------|------|
| 6) 高齢者糖尿病管理 | 芳珠記念病院 | 臼倉幹哉 |
| 7) 事例検討 | 事例提供者・公立羽咋病院 | 濱田 葉 |

4、糖尿病外来の先駆的取り組み

- | | | |
|---------------|---------------|-------|
| 8) 重症化予防外来の実際 | 千葉県循環器病院病センター | 西原晴美 |
| 9) 糖尿病外来の実際 | 東京女子医科大学病院 | 土田由紀子 |

5、魅力的な糖尿病外来

- | | | |
|------------------|-------------|--------|
| 10) ここはおさえる糖尿病外来 | 富山大学附属病院 | 八木 邦公 |
| 11) 魅力的な糖尿病外来 | 福井大学医学部付属病院 | 浅川 久美子 |

魅力的な糖尿病外来：能登地区、加賀地区同時 Web同時中継

〈第54回糖尿病看護ケア研究会〉12月2日(土)

公立能登総合病院から小松市民病院

「ここはおさえる糖尿病外来」 富山大学附属病院 八木邦公先生

小松市民病院から公立能登総合病院

「魅力的な糖尿病外来」 福井大学医学具附属病院 浅川久美子先生



研修会の雰囲気

事例展開: 雰囲気

高齢者の血糖
管理

講演
臼倉 幹哉
先生と
受講生の様子



本プログラム継続の必要性と今後の計画

石川県における貢献

- ・能登北部・中部および加賀地区において専門医の不足、地理的及び人材的な原因によるメディカルスタッフ研修機会の困難さを軽減
- ・メディカルスタッフの交流の広がりの増加

課題

- 1、地域における関心の高さの差はなかなか埋まらない
それぞれの研修会との交流や連携が必要では？
- 2、患者会活動に寄与できる医療スタッフの時間のなさ
特別な仕組みができないものかと模索中

今後の計画：現在の活動を継続していきながら、
新医療体制や人口動態などによる新たな課題を発掘していく